

3



上 ウラジスラフ・マルコフの綿ジャージーに焼印の作品《燃焼 (GSG)》(燃焼 (is 15)) (2020)。右上 昨年秋の「ショーン・ドノヴァン:新作」展示風景から。右奥 画廊正面もアーティストック。



コンセプチュアルな立体作品に じわじわとファン増加中

M 2 3

EM 2 3

「アンチ絵画ではないけれど、僕がフォーカスするのは新しい彫刻の形」と熱っぽく語るセオドア。中華街の雑多な通りの中、ひととき目立つミニマルなスペースに、素材やプロセス重視の立体作品が並ぶ。この手のアートは、一見難解なようでも、独特の美学を宿し、環境問題など身近なテーマを扱っている。コアな若手コレクターが増えているようだ。「自分が何が好きかを見極めるには、とにかく見て歩くこと。作品ばかりか作家を知ること重要。どんなコンセプトを持ち、どの作家と一緒に展示しているか」。アートは一人では生まれない。作家同士の動きの中に見えてくるものもある。
www.m23.co



Theodore Mauritz
画廊ディレクター

アートの仕事に就くために美術学校に通い、アーティストとともに学ぶ。常に作家目線の理論家で、話し出したら止まらない。



コンセプトな立体作品に じわじわとファン増加中

M 2 3

EM 2 3

「アンチ絵画ではないけれど、僕がフォーカスするのは新しい彫刻の形」と熱っぽく語るセオドア。中華街の雑多な通りの中、ひととき目立つミニマルなスペースに、素材やプロセス重視の立体作品が並ぶ。この手のアートは、一見難解なようでも、独特の美学を宿し、環境問題など身近なテーマを扱っている。コアな若手コレクターが増えているようだ。「自分が何が好きかを見極めるには、とにかく見て歩くこと。作品ばかりか作家を知ること重要。どんなコンセプトを持ち、どの作家と一緒に展示しているか」。アートは一人では生まれない。作家同士の動きの中に見えてくるものもある。
www.m23.co



4



良質な展覧会に定評あり。 日本人作家も紹介

Bridget Donahue

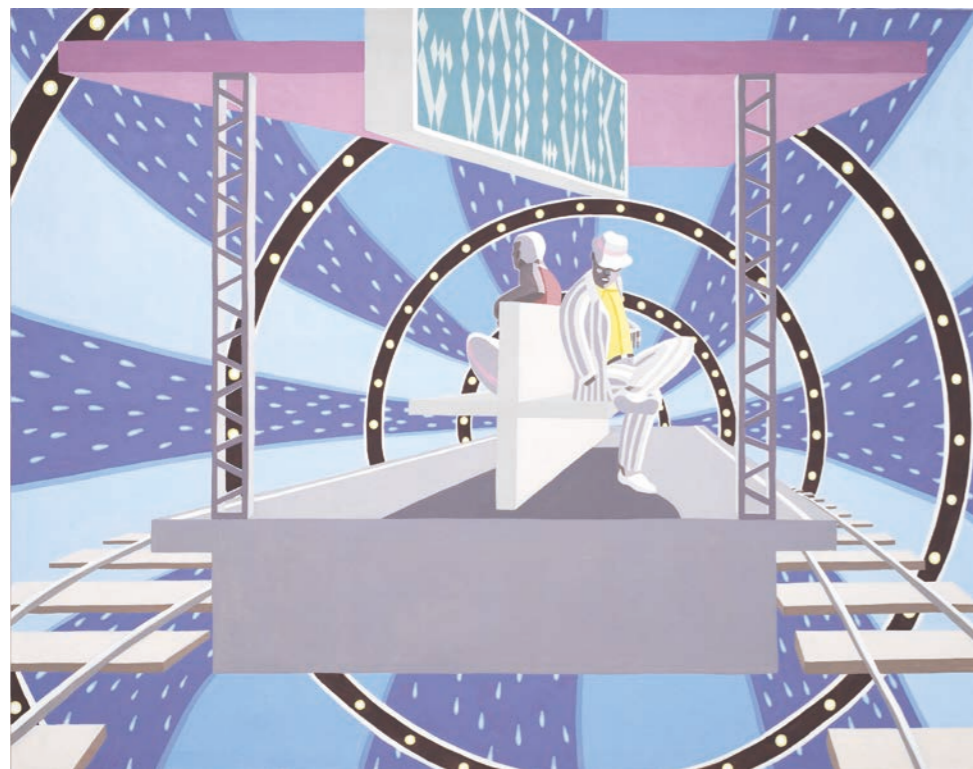
ブリジット・ドナヒュー

作家サポートの意味では、海外で活躍する日本人にも注目したい。小島郷史は、デュッセルドルフ芸術アカデミーに学び、かのイギリスのスター画家、ピーター・ドイグに師事した逸材だ。4年前のNYデビュー展では5,000~7,000ドルで作品は完売。今回は8,000~12,000ドルとまだまだ買いやすい価格帯となっている。「画廊はむやみに値段を上げるのではなく、美術館に作品を収めることが先決」。そう、美術館に収蔵されることで、作品の評価は跳ね上がる。逆に言えば、初心者コレクターはその前に買うことが大事。www.bridgetdonahue.nyc



Bridget Donahue
画廊オーナー

パワリー街のロフトに広がる斬新な展示は、アートメディアの注目の的。スタッフと2人だけのサロン風オフィスも近づきやすい。



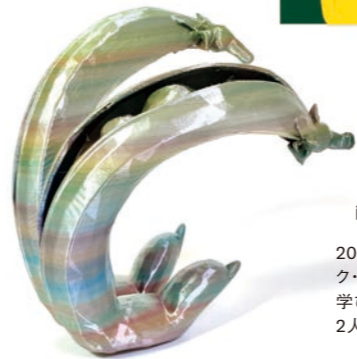
上 オパアートの装飾性と寓意的な人物画の要素を合わせ持つ小島郷史の油彩画《パラレルライン》(2021)。右上 ファッションデザイナーとしても知られるスーザン・チャンチオロのドロイング《川下で、天使が地面すすれに飛んでいる》(2019)

右 フラットな塗りに見えるアンソニー・イアコの絵画《真紅の輝き》(2020)は、紙を貼り付けたコラージュ! (1,800~12,000ドル)。下 玉虫色の奇妙なオブジェはグレイスリー・ローレンスによる3Dプリント《特別なハンガー》(2020)。これ一作で注目を集め、限定10点は完売(450~500ドル)。



Lauren Marinaro
画廊オーナー/ディレクター

2000年代の注目ディーラー、ザック・フォイヤーのもとで画廊経営を学び、2015年に独立。スタッフは2人ながら扱い作家は総勢17人。



2



Francisco Correa Cordero
画廊オーナー/ディレクター

展覧会企画の面白さにハマってスペースを持ったのが5年前。新人作家に初個展の機会を与える画廊としてアート界の信頼は厚い。

版画や写真集、手の届く選択肢も用意

Lubov

ルボフ

有名コレクターが最初に買ったアートが、小さな版画だったという例は珍しくない。ルボフでは、10年ぶりのカムバックで注目を集める画家シャノン・カルティエ・ルーシーの話題作のいくつかを限定50点のプリント版で発表している。油彩画は2万ドル以上だけれど、このプリント版なら475ドル。また、ダンサーをモデルに女性の視線や身体を捉える写真作品で知られるジェンナ・ウェストラの「アフタヌーン」シリーズは、サイズにより1,200~3,600ドル。限定500部の写真集なら30ドルだ。少しずつグレードアップしていくのも、アートを買う楽しみの一つ。www.lubov.nyc

上 ジェンナ・ウェストラの写真《水を通したレモンの眺め》(2020) 右奥 シャノン・カルティエ・ルーシーのちょっと不思議な絵画《新居》(2017) 右 二人展に登場したキアラ・イブラの素焼きの彫刻《チャンネル・メイス》(2021)もファンキーだ。

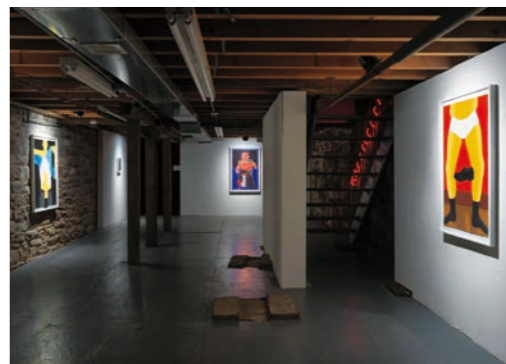


見る目を養うにはたくさんのプロと話すこと

Marinaro

マリナロ

「画廊サイトで気に入ったものがあったら、海外からでもメールして自分の興味を伝えてみる。画廊にはそれぞれ扱う作家に傾向があり、さまざまな情報が集まってくる」。こんな積極策を奨励するローレンは、アートを買う第一歩はギャラリストとの対話からと信じている。地下2階を含む3フロアのスペースでは、新進作家の個展や実験性の強いグループ展が6週間おきに登場。在野のキュレーターやギャラリスト仲間との共同企画も多く、「アートビジネスの資本は、ズバリ「人」」。たくさんのプロと接することで、見る目が養われるという。www.marinaro.biz



1

今最もハプニングなエリア 「トゥーブリッジズ」を探訪!

バンドミックで閑散となった街で、新たなアートが芽吹き始めた場所がブルックリン橋とマンハッタン橋の巨大橋樑に挟まれた、通称「トゥーブリッジズ」。シーンを牽引するギャラリーの押し作品を拝見

